

平成 21 年度 事業 報告 書

1 研究助成事業

15,400,000円

自 平成 21 年 4 月 1 日

至 平成 22 年 3 月 31 日

研 究 課 題	研究機関	研究者名	助成金(千円)
上皮間葉系細胞転換分子、ZEB1のがん遺伝子としての役割の解明	名古屋大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学講座	佐藤 光夫	500
CD8 ⁺ CD122 ⁺ 制御性T細胞のがん免疫への関わりの解明と同細胞を利用したがん治療法の開発	名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞免疫学分野	鈴木 治彦	500
Nek2 siRNAと抗癌剤併用時のシグナル伝達系に関する基礎的研究	名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科	國料 俊男	500
新しい肺癌治療薬開発に向けたヒト培養細胞の遺伝子改変	愛知医科大学医学部 生化学講座	小西 裕之	500
胃発癌に至る胃腺管幹細胞の変化と腺管の分化異常の解明：早期胃癌診断へのアプローチ	藤田保健衛生大学医学部 第一病理学	塚本 徹哉	500
日本における肺がん組織型別罹患率の年次推移の特徴とその要因	研究所 疫学予防部	田中 英夫	500
悪性脳腫瘍グリオブラストーマとヒトサイトメガロウイルスの関連	研究所 腫瘍ウイルス学部	磯村 寛樹	500
悪性中皮腫移植マウスモデルでのmTOR阻害薬による腫瘍増殖抑制効果	研究所 分子腫瘍学部	藤井万紀子	500
TNFAIP3/A20によるB細胞性腫瘍抑機構の解明と治療標的分子の検索	研究所 遺伝子医療研究部	本間圭一郎	500
癌性疼痛に対する超音波内視鏡ガイド下腹腔神経叢ブロック(EUS CPN)と直接腹腔神経節ブロック(EUS CGN)に関する比較試験	中央病院 消化器内科部	今村 秀道	500
分子標的薬の難知性中皮腫への臨床導入に向けた基礎的検討	中央病院 呼吸器内科部	樋田 豊明	500
セツキシマブ及び塩酸イリノテカン併用療法の第二相臨床試験	中央病院 薬物療法部	室 圭	500
膵腺房細胞癌におけるbcl-10発現の検討	中央病院 臨床検査部臨床検査科	細田 和貴	500
肺腺癌におけるEGFR遺伝子変異の生物学的意義について	中央病院 遺伝子病理診断部	谷田部 恭	500

研究課題	研究機関	研究者名	助成金(千円)
EML4-ALK転座を示す肺癌の臨床病理学的検討	中央病院 遺伝子病理診断部	北村 淳子	500
頭頸部癌薬物療法の効果予測バイオマーカーの研究	中央病院 頭頸部外科部	長谷川泰久	500
頭頸部遊離皮弁再建患者の術後機能評価法の確立	中央病院 形成外科部	兵藤伊久夫	500
大腸癌肝転移切除後患者を対象としたフルオロウラシル/1-ロイコポリンとオキサリプラチン併用補助化学療法(mFOLFOX6)VS.手術単独によるランダム化 / 相試験	中央病院 消化器外科部	清水 泰博	500
骨肉腫細胞の増殖・進展抑制におけるRegulatory T細胞の役割の検討	中央病院 整形外科部	杉浦 英志	500
がん専門病院における高度緩和医療システム構築に関する研究	中央病院 緩和ケア部	細田 蓮子	500
癌患者の全身麻酔導入時における挿管刺激の緩和と筋硬直発生予防の両立技術の開発	中央病院 麻酔科部	仲田 純也	500
食道癌術前術後GF0投与の有用性に関する無作為化比較試験	中央病院 集中治療部	波戸岡俊三	500
切除不能悪性大腸狭窄に対するステント治療についての第 相臨床試験	中央病院 放射線診断・I V R部	稲葉 吉隆	500
MRIによる肝細胞イメージと肝機能との相関性	中央病院 放射線診断・I V R部	松島 秀	500
IA期非小細胞肺癌に対するトモセラピーによる定位放射線治療の多施設第二相臨床試験	中央病院 放射線治療部	古平 毅	500
乳がん患者におけるタキサン系抗がん剤による末梢神経傷害の客観的評価方法の検討	中央病院 看護部	新貝夫弥子	500
直腸癌術後患者における術後Quality of Lifeと排便機能障害の横断的研究	中央病院 看護部	山口 真澄	500
都道府県がん診療連携拠点病院における薬剤部と保険薬局との地域連携 外来化学療法患者への服薬指導パンフレットの共有化	中央病院 薬剤部	立松三千子	500
加齢性EBV関連B細胞性リンパ増殖異常症の臨床病理学的及び分子生物学的解析	中央病院 血液・細胞療法部	山本 一仁	500
乳癌術後補助化学療法における急性嘔吐の制御方法の改善と関連地域連携クリニカルパス作成に関する研究	愛知病院 乳腺科	小田 高司	500
肺癌の診療における3D画像の有用性の検討	愛知病院 呼吸器内科	浅井 暁	400
合 計		31件	15,400

2 海外派遣研究助成事業

1,474,360円

派遣期間	派遣先	参加学会等	参加者氏名		助成金額(円)
21.6.20 ~21.6.27	アメリカ	リンパ腫研究の最先端を担うネブラスカ大学のリンパ腫グループが主催するPan-Pacific Lymphoma Conferenceに参加した。リンパ腫の分野における多くの最先端の情報を凝集して取得できる希有な機会であった。	中央病院 血液・細胞療法部	大木 康弘	250,000
21.10.31 ~21.11.6	アメリカ	米国シカゴにて開催された第51回米国放射線腫瘍学会に参加し、子宮頸癌に対する根治治療症例の3回の調査研究比較に関する発表を行い、高い評価を得、有益な情報交換や最先端の医療技術、診療情報の数多くの知見を得ることができた。	中央病院 放射線治療部	古平 毅	250,000
21.11.2 ~21.11.8	アメリカ	膵疾患に関する研究・臨床において最も質の高い会議のひとつである40th Anniversary Meeting of American Pancreatic Association and Japan Pancreas Societyで膵管内乳頭粘着性腫瘍（IPMN）癌予測モデルの作成に関する研究発表をした。	中央病院 消化器外科部	清水 泰博	250,000
21.11.29 ~21.12.5	アメリカ	シカゴ市で開催された第95回北米放射線学会に参加し、乳癌術前化学療法早期治療効果判定に関する研究成果を発表するとともに、セッションに参加するなど、現在のトレンド及び今後の方向性を理解するために有意義な学会であった。	中央病院 放射線診断・IVR部	松島 秀	225,040
22.2.6 ~22.2.11	アメリカ	アメリカのハワイにて、第8回日本癌学会・米国癌学会合同会議が開催され、自身の研究成果を発表するとともに、様々な分野の研究者達と積極的に討論を行い、分子腫瘍学部における研究の継続・発展に役立てたいと考える。	研究所 分子腫瘍学部	村上 秀樹	249,320
22.3.3 ~22.3.11	イギリス	国民性が日本と類似している英国の緩和ケアの5施設を視察した。どの施設も全人的アプローチ（包括的緩和ケア）を重視し、患者・家族の身体的苦痛のみでなく、心理的・社会的・スピリチュアル的苦痛に対するケアを行っていた。周辺施設の緩和ケアチームと協力しながら、地域における緩和ケアチームとして在宅患者のコンサルテーションを受け入れるシステム構築について考えていきたい。	中央病院 看護部（外来）	向井 未年子	250,000
計			件 6		円 1,474,360

3 技術者育成・研修助成事業 1,495,450円

がん診療に従事する看護師、放射線技師及び臨床検査技師等の専門技術者の知識・技術の増進を図るため、学会及び研修会等への参加に要する旅費、参加費等の助成を行った。

認定看護師教育課程「がん化学療法看護」始め 16件(24名)

4 学会開催助成事業 2,300,000円

「がん予防大会2009愛知」に対し、開催経費の助成を行った。 300,000円
開催日：平成21年6月16日(火)・17日(水) 場所：愛知県がんセンター国際医学交流センター 参加者数 221人

「第34回リザーバー研究会」に対し、開催経費の助成を行った。 500,000円
開催日：平成21年10月31日(土)・11月1日(日) 場所：愛知県がんセンター国際医学交流センター 参加者数 229人

「第15回愛知県がん国際シンポジウム」に対し開催経費の助成を行った。 1,500,000円
開催日：平成22年3月6日(土) 場所：愛知県がんセンター国際医学交流センター 参加者数 182人

5 研究活動支援事業 2,746,019円

研究を円滑に執り行うための事業費(囑託：1名) 2,746,019円

6 ボランティア活動推進事業 463,881円

愛知県がんセンターの入院患者を対象とした図書貸出サービス「かのこ文庫」の運営を始め、「外来案内」、「庭園管理」、「院内ギャラリー」及び「車椅子等の整備」に関するボランティア活動に対する経費を負担した。

かのこ文庫開催回数 145回
かのこ文庫利用状況 延5,060人(1回平均34.9人)、延24,099冊(1人平均4.7冊)

平成22年4月1日現在 ボランティア 52名在籍